

令和3年度 北海道小学校長会地区活性化支援事業【実践事例レポート】

- 1 報告地区：宗谷地区
- 2 事例報告学校名：利尻町立沓形小学校
- 3 報告者職・氏名：校長 平 澤 徳 男
- 4 キーワード：《学校経営のキーワード》気づき→気づかせ→変容へ

1 はじめに

沓形小学校は、ノシャップ岬より海上58km隔てた利尻島の西部に位置する。全校児童は49名、学級数は8学級（特別支援学級2学級を含む）の学校である。明治26年に開校し、今年で開校128年目を迎える歴史と伝統、そして地域に根付く「地域の学校」である。歴代の教職員により培われてきたものに改めて気付きをもち、現在へとつなげ、より深化した取組へと変容させることを経営の要としている。今年度、沓形小学校で行っている取組の一部を紹介する。

2 実践紹介

(1) 学力向上の取組とその効果的な対応策

学校経営上の重点の一つである、『組織的・計画的な教育の質的向上を図るカリキュラム・マネジメントを一層推進させる』の取組

《宗谷管内学力保障会議の総括的指標「全国学力・学習状況調査において、全ての児童生徒の国語・算数の正答率が、全国平均+10ポイント以上を達成」に関わる本校の動き》

沓形小学校 全国学力・学習調査へ向けた取組体制				令和3年実施調査当日 ※5月27日(木)			
令和3年4月中旬		令和3年5月実施前日まで		令和3年実施調査当日		令和3年実施調査翌日	
教頭・教務	学級担任	教頭・教務	学級担任	教頭・教務	学級担任	教頭・教務	学級担任
○調査の事前準備 (4/15~)		○5/7 打合せ会議 (教頭・教務・学級担任)		○9:00まで (何らかの理由で調査を実施できなかった場合)		○電話連絡	
○当日までの流れ提案 ●当日までの流れを確認		●朝学習 R元 算数問題		○マニュアル通り実施		○実施時間の確認	
○当日の流れ提案 ●当日の流れの確認		●朝学習 R元 算数問題解説		※調査の実施手順確認		○チャイムの確認	
○4/20 打合せ会議 (教頭・教務・学級担任)		●朝学習 R元 国語		※問題・解答用紙、個人番号			
・朝学習の時間等を活用する。 ●朝学習 R2 算数問題		●朝学習 R元 国語		○回収物を配送業者に引き渡す		○放課後に設定	
・退会間を実施 ●朝学習 R2 国語問題・算数		●朝学習 R元 国語問題解説		○◎自校採点作業→取りまとは、全体+個人表を作成		○調査終了報告書「項目4」まで記入	
○当日の流れ提案 ●当日の流れの確認		○5/14 (金) 打合せ会議 (教頭・教務・学級担任)		○6/1 (火) 事後の報告			
		○5/19 (水) 打合せ会議 (教頭・教務・学級担任)		令和3年実施調査翌日以降			
		○5/19 (水) 事前の報告 (調査対象となる全児童生徒数)		○◎自己採点 (○付け)			
		○5/26 (水) 16:00まで (事前準備完了の報告)		○6/3 (木) 自校採点の結果等報告			
○WEBシステムの確認		○WEBシステムの確認		○結果の分析、考察			
		○結果の共有 ○今後の動きを確認		○◎分析結果等の共有 ○今後の動きを確認		○職員会議	
		○調査結果の共有 ○学力向上プラン後期作成・提案		○◎調査結果の共有 ○学力向上プラン後期作成・提案		○職員会議	
		○結果を受けての具体的な取組 ◆日常的な授業にどう生かしていくか等検討		○◎結果を受けての具体的な取組 ◆日常的な授業にどう生かしていくか等検討		○分科会議	
		○具体的な取組の検証 ◆取組を通してどのような変容があったのか等		○◎具体的な取組の検証 ◆取組を通してどのような変容があったのか等		○研修	
		○今後の本校学力向上に向けて		○◎今後の本校学力向上に向けて			

《キーワードの意識化》

- ①学習活動の様々な場面で、児童に気付かせるために、我々教職員が気付いているか
- ②児童自身に、「気づき→考え→行動する」ことを大切にする教育活動をしているか
- ③同僚同士で、気付いたことを話し合っているか
- ④児童や保護者、地域の気づきを大切にしているか
- ⑤「例年どおり」に捉われていないか



《学校における研修の目的の再確認》

- ① 研究主題に迫るために何をするのか※「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現
- ② 日々の学習活動に向かうための「授業力」と「児童理解力」の向上
- ③ 学校研究の進め方を担当に任せることなく、我々教職員全員で深化させていく

《学力向上プラン・体力向上プランと学級経営案をリンクさせる》

	○家庭での振替を呼びかける。			
学力向上に向けた 検証改善サイクル	・自分の考えを文章にするという力を向上させるための練習問題を行う。 ・読書の漢字の習熟	・自分の考えを書かせる活動に（特に国際の学習を中心に）取り組んだが、論理的に書くことができていないため、継続指導が必要。 ・漢字についても継続的に復習が必要		
(5) 体力	○筋力・運動能力の向上 ○柔軟	○持久走 ○水泳	○苦手分野に向けての取組	
体力向上に向けた 検証改善サイクル	・走力（持久走・短距離走ともに）弱いため、体育の授業、前段でサーキットトレーニングを入れ、向上を図る	・体力テストでは、男女ともに柔軟性が低かったため、柔軟体操を取り入れていく。また、男子の走力・持久力・踏力・跳躍力についても向上を図りたい	・2節の後半は、体育大会に向けての取り組みが多くなってしまったため、柔軟体操、基礎体力向上に向けての帯活動をしっかりと行ってほしい。	
3 生徒指導 (キニハ活動)	○キニハ活動への意欲づけ ○礼儀 ○きまりを守る ○時間を意識した行動 ○安全指導	○キニハ活動の振り返り・実践 ○場に応じた言葉づかい ○整理・整頓、清掃	○キニハ活動の振り返り・実践 ○場に応じた言葉づかい	○進 ○研 ○修 ○研 ○究

(2) 業務改善の取組とその効果的な対応策

学校経営上の重点の一つである、『教職員の連携・協働による指導で、学校としてのチーム力を高める』と同じく重点になっている『働き方改革委員会の更なる深化と一人一人の意識改革』をリンクさせる取組

《第一回働き方改革委員会の押さえ》

杏形小学校 働き方改革委員会の設置について

1. 働き方改革をより実効性・継続性のあるものにするために、「杏形小 働き方改革委員会」を設置する
2. 設置によって働き方改革を逆行させないことを考え、既存の組織を活用する
3. 具体的には
 - ア) 校務運営委員会参加メンバー（校長・教頭・各分掌部長）で構成する
 - イ) 開催日は、校務運営委員会と同日とする
4. 北海道アクションプラン
「個の「気付き」とチームの「対話」、地域との「協働」に満ちた学校づくりに向けて」
《重視する視点》

個の「気付き」	■現状分析を踏まえて各教員が自らの働き方を認識し、各自が最適な取組を実施
チームとの「対話」	■真に必要な教育活動を効果的に行うため、学校全体で対話し、業務改善を実施
地域との「協働」	■働き方改革の趣旨と取組に対する、保護者や地域住民の理解と協力を醸成
5. 課題意識調査
課題の洗い出し→目指す方向性（目標）設定→具体的な取組→成果の確認→更なる改革

《名称変更》

『働き方改革委員会』改め **KWR**

K:KUTUGATASYOU
W:WORKING
R:REVOLUTION & RENOVATION

3 おわりに

杏形小学校では、『気づき・気づかせ・変容へ』を学校づくりのキーワードとしている。

また、今年度は、利尻島校長会のリーダーシップの下、利尻島内2つに存在していた利尻町と利尻富士町の教育団体を統合し、『利尻島教育研究会』を立ち上げた。利尻高校にも参加を呼び掛け、島全体の学校段階等間の連携を進め、教育課程の解明に向けた積極的研鑽の場としてスタートした。